

令和4年8月30日発行

立山町教育センターだより 号外13

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

24時間テレビも終わり、夏もそろそろ終わりかなと感じる季節です。日中はまだまだ暑い日が続きますが、朝夕はめっきり涼しくなってきました。先生方、風邪をひかないように、体調にはくれぐれも気を配ってくださいね。

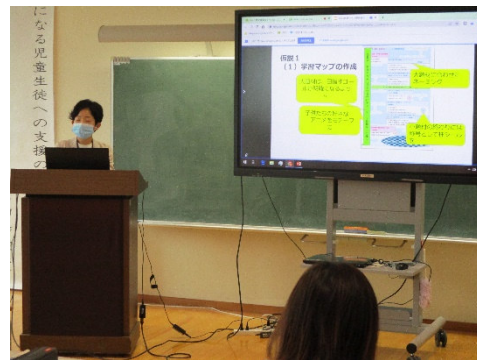
教育研究実践記録等展示発表会 R4. 8. 25 立山中央小学校

8月25日、教育研究実践記録等展示発表会を開催しました。令和3年度優秀賞に輝いた立山中央小学校牧谷奈緒子先生の「家族の一員として生活をよりよくしようと、主体的に学ぶ子供の育成を目指して ～6年家庭科の実践から～」の実践を発表していただきました。子供たちにどのような力を付けたいのか、そのために単元全体を通して何が必要なのかを学級の実態を基に構想し、子供に単元のゴールを示して見通しをもたせられながら学習を進めていったことで、子供が主体的に取り組んだ様子が子供の記録や授業映像から捉えることができました。

また、子供の考えを共有し、比較検討したり、話し合いを深めるためにタブレットを効果的に活用したりするよさも学ぶことができました。

教師の使命はよい教育実践、よい授業をすることです。自分の教育実践をまとめる意義は大きいと改めて感じることができました。

牧谷先生、ありがとうございました。



～ 県民カレッジ「夏季講座」の講演から ① ～

先日、藤原 正彦さん（お茶の水女子大学名誉教授）の講演を聞く機会がありました。一世を風靡した『国家の品格』を書かれた方です。国際派の数学者でありながら、この日本をよりよくしていこうという強い志にあふれた有名なエッセイストでもあります。「これからの日本」という演題でした。藤原先生が強く主張されたキーワードが「情緒」「美的感受性」です。情緒（勇気、正義感、義理や人情、親孝行、笑いと涙等）を大切にし、児童生徒には「だめなことはだめ」ときちんと言え込むことが大切であると説かれました。また、「美的感受性」は、自然や芸術、物事への考え方等、その人なりの「感じるセンサー」であると言われ、日々の教育活動で大事に育ててほしいと主張されているように聞こえました。教育に携わる者たちへの熱いメッセージととらえることができ、児童生徒との教育活動を思い浮かべることができました。

今回は、その教育活動について書いてみます。

文責 次長（所長代理）松田 伸浩